

船舶事故調査報告書

平成28年12月15日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	乗揚																												
発生日時	平成27年9月24日 13時50分ごろ																												
発生場所	和歌山県田辺港第1区 友ヶ島灯台から真方位054° 620m付近 (概位 北緯34° 17.1′ 東経135° 00.4′)																												
事故の概要	給水船給水丸は、係留して給水作業中、付近の干出浜に乗り揚げた。																												
事故調査の経過	平成28年8月24日、主管調査官（神戸事務所）を指名原因関係者から意見聴取実施済																												
事実情報																													
船種船名、総トン数	給水船 給水丸、96.42トン																												
船舶番号、船舶所有者等	125062、下津港湾給水株式会社																												
乗組員等に関する情報	船長、六級（航海）																												
負傷者	なし																												
損傷	船底に破口																												
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風向 北東、風力 3、視界 良好 海象：波高 約0.5m、潮汐 上げ潮の中央期 洲本地域気象観測所における平成27年9月24日の観測値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">時刻</th> <th rowspan="2">降水量(mm)</th> <th colspan="4">風向・風速(m/s)</th> </tr> <tr> <th>平均</th> <th>風向</th> <th>最大瞬間</th> <th>風向</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>13:30</td> <td>0.0</td> <td>5.2</td> <td>北東</td> <td>9.9</td> <td>北東</td> </tr> <tr> <td>13:40</td> <td>0.0</td> <td>5.0</td> <td>北東</td> <td>10.0</td> <td>北東</td> </tr> <tr> <td>13:50</td> <td>0.0</td> <td>5.0</td> <td>北東</td> <td>9.7</td> <td>北東</td> </tr> </tbody> </table>	時刻	降水量(mm)	風向・風速(m/s)				平均	風向	最大瞬間	風向	13:30	0.0	5.2	北東	9.9	北東	13:40	0.0	5.0	北東	10.0	北東	13:50	0.0	5.0	北東	9.7	北東
時刻	降水量(mm)			風向・風速(m/s)																									
		平均	風向	最大瞬間	風向																								
13:30	0.0	5.2	北東	9.9	北東																								
13:40	0.0	5.0	北東	10.0	北東																								
13:50	0.0	5.0	北東	9.7	北東																								
事故の経過	<p>本船は、船長ほか2人が乗り組み、給水作業の目的で、沖ノ島北岸の海岸に係留して給水作業中、急に風が強くなり、船尾の錨索が切断し、付近の干出浜に乗り揚げた。</p> <p>本船は、船尾部から錨を投下して錨索（直径約20mmの化学繊維製索）を約70m伸出し、船首部から海岸の松に係船索（直径約20mmの繊維索、長さ約60m）をとって係留していた。</p> <p>船長は、本事故発生場所付近で10年以上6月～9月まで、同じように係留して民宿への給水作業をしてきたが、錨索が切断するような強い風を経験したことがなかった。</p> <p>気象庁の当日09時00分の天気図によれば、四国沖に前線を伴う低気圧が東進していた。</p>																												
分析	本船は、沖ノ島北岸の海岸に係留中、風により、船尾の錨索に現有																												

	強度を超える張力がかかったことから、同錨索が切断し、付近の干出浜に乗り揚げたものと考えられる。
<b>原因</b>	本事故は、沖ノ島北岸の海岸に係留中、風により、船尾の錨索に現有強度を超える張力がかかったため、同錨索が切断し、付近の干出浜に乗り揚げたものと考えられる。
<b>参考</b>	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 <ul style="list-style-type: none"><li>・強い風が予想されるときは、増し取りするなどして錨索に掛かる張力の分散を図ること。</li></ul>